

事業報告書 (No. 22)

1 支援団体名	NPO法人 普賢岳と共生する会
2 事業名称	普賢岳と共生する会による花作り
3 実施日時	平成19年6月1日～平成20年3月31日
4 実施場所	長崎県島原市白谷町(水無川1号砂防堰堤左岸付近)
5 事業目的、内容及びその効果	(事業実施状況・内容) 雲仙普賢岳災害により砂防事業が進められる中、砂防指定地の理活用として水無川1号砂防堰堤左岸付近に春は菜の花、秋はコスモスを栽培し、憩いの場を提供することにし、種まき、植え付け、管理を行うとともに菜の花の種を利用し、小学校で搾油実験を行った。
	(実施事業効果) 菜の花・コスモスの開花時期には、毎シーズン多くの報道機関が取材し、記事にされることにより、県内外から大勢が鑑賞に訪れ、同時に砂防事業の進捗等もみられ、噴火活動からの復興状況を確認できる。 また、小学校に菜種の搾油実験を通じ、砂防指定地内に栽培した菜の花から作り出すということで、砂防事業への関心を促進できる。
6 参加内訳	総人数 多数名
	(1)主催者参加 29名
	(2)日本人参加((1)を除く) 0名
	(3)外国人参加((1)を除く) 0名
7 今後の方針	今後は、見せる花作りから、活用する花作りに転換する時宜にきている。 別の花でのエコエネルギーの実験プラントの模索も視野に入れ、砂防指定地の理活用を考えていきたい。

満開のコスモス



清掃、管理

